

# Readymade: Map

CANADA - KOREA - JAPAN

June 14 - July 2, 2006

Christy Thompson

AKIMOTO Shinobu

CHOI Jinkee

IZUMI Takaaki

HIRAMATSU Nobuyuki

KATO Manyu

MIKE HOOBOOM

TAKAHASHI Nobuyuki

TAKEDA Hisashi

TOMINAGA Yoshihide

HAN Sanghyuk

Rhonda Wepler

THE WONDER SITE  
SHIBUYA

# シテイメイド：マツダ

2006年6月14日(水) - 7月2日(日)  
11:00 - 19:00

休館日：月曜日(祝日の場合は火曜日) 入場無料



1967 愛知県名古屋市生まれ  
主な展覧  
2003 高橋伸行展 機能拡張 / +Gallery, 愛知  
2004 高橋伸行展 機能拡張 / Mercier Union トロント、カナダ  
2006 個展 voice of things / Mercier Union トロント、カナダ  
主なグループ展  
2004 UNUSUAL COMBINATION / +Gallery, 愛知  
2005 Double Bind / フォートスミス、スエーデン、ソウル、韓国  
2006 大田芸術祭 高橋伸行展 - U2006 参加 (ソウル、韓国)  
「やま(山)美術」プロジェクト 総合アートセンター (病院とギャラリー)  
トビの工房 ホーシュープロジェクト + Gallery 運営メンバー

1962 愛知県に生まれる  
2002 個展 「今日の作家シリーズ / Abnormally Normal」  
大阪国立現代美術館 センター (大阪)

「職 8」 レントゲンエルフ (東京)  
2003 個展 「Another Effect / Video Works 2000 - 2003」  
コアスタジオギャラリー (名古屋)  
「現代美術のホスピタリティ」 2003 名古屋美術館 (名古屋)  
「108」 ISE Cultural Foundation New York Gallery (ニューヨーク)  
2004 第7回日本現代美術展 大賞展 / 日本現代美術館 (神奈川)  
2005 個展 「加藤万也」 +Gallery (愛知県津島市)  
「Edinburgh Art Festival / Inawashiro Merz Gallery」 (エジンバラ)  
「Seoul Fringe Festival / Double Bind」 Art Space Hue (ソウル)



加藤万也



1974 Born in Seochun Korea.  
2002 M.F.A. Seoul National University  
Solo Exhibitions  
2006 Pining Eye / Gallery SSsamzie, Seoul  
2005 While You Are Away from Home / Project Space 2/a Seoul  
2003 Attack of the Plastics / Alternative Space LOOP, Seoul  
Group Exhibitions  
2005 Anyang Public Art Project / Anyang Korea Standing by 000 / Kwahoon Gallery, Seoul  
Art in Bloom / Seoul Museum of Art, Seoul  
Humor of Everyday Life / National Museum of Contemporary Art / National Museum of Artists / +Gallery, Aichi Japan

チエ・ジンギ  
2004 Daily life of Artists

1965 愛知県生まれ  
主な展覧  
2000 空間体験 / 国立国際美術館 大阪  
2001 NEW SPACE / オリエル・スミスギャラリー、イギリス  
2002 NEW SPACE / オリエル・スミスギャラリー、イギリス  
2003 +Gallery OS+/+Gallery, 愛知  
個展 「RECENT WORK」 +Gallery, 愛知  
立体美術 「デュエット」展 / +Gallery, 江南、愛知  
2004 UNUSUAL COMBINATION / +Gallery, 愛知  
2005 Double Bind / Art Space Hue, ソウル、韓国  
2006 居心地のよい場所 / 春日井布衣芸術センター、愛知



平松伸之

Christy Thompson is an artist living and working in Toronto. Working primarily in sculpture and installation, her recent exhibitions have included House Guests at the Art Gallery of Ontario (2003), Toggie Wand at Mercer Union (2001), Expect Delays at Artspeak and Shelter at the Tree Museum. She is currently working on a body of 3-dimensional objects that incorporate fluorescent and photochromic lighting. Thompson is currently Head of Exhibitions and Administration at The Power Plant.

Christy Thompson



泉孝昭

1972 Born in Seoul  
2006 M.F.A Korea National University Of Art Exhibitions  
2006 new-impression, Keunsaan gallery, Seoul  
2006 "open-souace", 175 gallery, Seoul  
2005 "Portrait 2005", Seoul Museum Of Art, Seoul  
"Vocalise", 175 gallery, Seoul  
"The production of space", 175 gallery, Seoul  
2004 "Open studio 2004", the studio of KNUA, Seoul  
2003 "h=2.4kg", La Mer gallery, Seoul  
"The determination of time", Dukwon gallery, Seoul



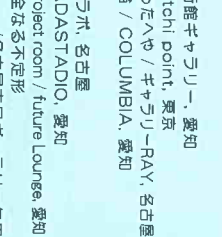
ハン・サンヒョク



Mike Hoolboom

He is a Canadian artist working in film and video. He is the author of two books: *Plague Years* (1998) and *Fringe Film in Canada* (2001), and has edited books on two filmmakers along with various publications. He is a founding member of the Pleasure Dome screening collective, and has worked as the artistic director of the Images Festival and the experimental film co-ordinator at Canadian Filmmakers Distribution Centre. He has won more than thirty international prizes and exhibited his work in major festivals including Berlin, Rotterdam, Locarno and Nyon. He has enjoyed retrospectives in eight European cities.

個展  
2004 dela vu / 豊田市美術館 セヤラリー、愛知  
2005 うちゆうそくど / switch point, 東京  
FRAGMENT うちがえつたエヤ / キヤラリー-RAV, 名古屋  
2006 竹田イヌム人間不在論 / COLUMBIA, 愛知  
グループ展  
2004 新書館 エビスカーホホ, 名古屋  
conranshou / OKADASTADIO, 愛知  
U02の3葉 Temporary project/room, future Lounge, 愛知  
2005 Ghost of Ghost 壳もなる不定形 / 名古屋市民ギャラリー-矢田



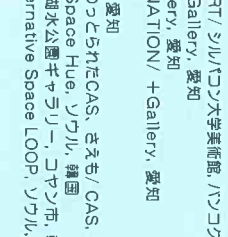
竹田尚史



私元しのぶ

90年代初期よりカナダで活動を始め、1999年にUniversity of Western Ontario 美術学科修士課程修了後、トロントを拠点にカナダ国内外で多々の個展を行ってきた。主にインク・ペインティング、インク・ペインティングとして展開される彼女のプロジェクトは、いわゆる「芸術的」な特色や題目の不在で「ライフスタイル」としての美術制作活動というコンセプトを追求してきた。現在トロントのアーティストセンター - Mercer Union のホートメント/バーを2つとめ、2画のあいだを行き来しながら活動中。過去の個展、活動の詳細は <http://www.h6.dion.ne.jp/~shinoart/>。

2001 NEW TRADITIONAL ART/ シル/ ロンドン大学美術館、ロンドン、タイ  
2003 +Gallery OS+/+Gallery, 愛知  
個展 「Stripe」 / +Gallery, 愛知  
2004 UNUSUAL COMBINATION / +Gallery, 愛知  
個展 / +Gallery, 愛知  
グループ展 / +Gallery, 愛知  
グループ展 / +Gallery, 愛知  
2005 Double Bind / Art Space Hue, ソウル、韓国  
コヤン市国際芸術祭 / 池水公園 セヤラリー、コヤン市、韓国  
ハンソル・タダ / Alternative Space LOOP, ソウル、韓国



富永佳秀

## Readymade:Map

実験的で先鋭的な、商業活動には収まらない活動を積極的に行うアーティストや作家のネットワークは同世代的で現在進行形の価値がまだ完全に定まっていなくても提示していく役割を担っていて、そのネットワークの中には国内内外の重要性が高まっている。そんな活動を継続的で発展的にしていくには国内内外の連携やネットワークが重要でしよう。そんなアーティストや作家のネットワークを国際的に構築し、各国のアーティストのネットワーク作品を機軸として展示することで、それぞれの国の文化的特徴や傾向を展覧しようと思えます。

ソウル、チエ・ジンギが1913年に自動車の手車を椅子に取り付けた作品がその始まりとされるチエ・ジンギは、その後のアーツ・プロジェクト、シミュレーションなど集まって1980年代には現代美術の一つの表現方法として定着し、すでに確立したとも言える。既成の物やイメージを多用して、ソングミソ的な近代芸術の唯一性（アカラ）に背を向け、大衆芸術からの派生（アプロロリア）、「サンプリング」を積極的に推し進めたシミュレーションの本質は「カプトルニア」。「サンプリング」に「リミックス」にあります。（植木野衣『シミュレーションとメディア』）

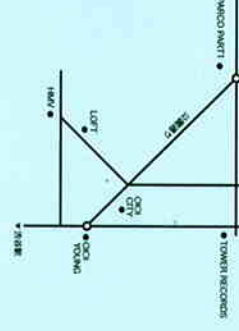
引用というよりも略奪と言える「サンプリング」や、切断しランダムに取り出す「カプトルニア」で集められた素材を要約すること知らし再構成し反復する「リミックス」は、音楽において早く確立し、引用元を知らなければオリジナルなのかプロデュースなのか区別がつかないほど一般化しています。音楽においては、既に「曲」として成立したものをから引用することが多いのですが、美術の場合は工業製品を流用したことから、コピー・ピロトのようになってきました。音楽と違い美術においては物体として提示されるものだけが作品ではなく、誰が何をどう提示するのかも含めて成立したものであるという点が特徴です。どこまでを既製品として捉えるのか、またその取り扱い加工の程度などによってアーティストというカテゴリは流動的ですが、今回は既製品（やイメージ）に対してなるべく最低限の加工によって作られた作品のような作品で「イメージ」を再確認、再認識してみたいと思います。作品の素材に既製品や既成イメージを使うということは、その時代や地域や文化特性が現れるのだと言えます。特別なものよりも一般的に具備されていて使われているくらい心を持たたりしているからこそ、それは引用の対象となるからです。現代のように物質や情報が増えている中からそれを選択したのか、そしてどう扱うのか当然重要になります。今回の展覧はそんな「イメージ」によるカルチャー・プロジェクトとすることをしよう。

平松伸之 (アーティスト + Gallery 代表)

アーティスト：  
カナダ > 私元しのぶ Christy Thompson Mike Hoolboom Rhonda Weppier  
韓国 > チエ・ジンギ ハン・サンヒョク  
日本 > 泉孝昭 加藤万也 高橋伸行 竹田尚史 富永佳秀 平松伸之  
企画：+Gallery (プラスギャラリー)  
協力：トーキーロータリーサークル

巡回予定  
2006年9月9日(土) - 10月15日(日)  
+Gallery (愛知県江南市布袋町南236 Tel&Fax:0587-56-5547)  
plus-gallery@mbn.nifty.com <http://homepages3.nifty.com/plusgallery/>

同時開催展：  
人はなぜ絵画を描くのか Vol.1  
第1回アートプロジェクト企画  
『ある夏のフローイングの軌跡』



トーキーロータリーサークル 渋谷  
〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-19-8  
Tel:03-3463-0603  
Fax:03-3463-0605  
Email:info@tokyo-ws.org  
URL:<http://www.tokyo-ws.org>  
渋谷駅 (JR山手・埼京線・湘南新宿ライン)  
東急 東横・田園都市線 / 京王井の頭線 /  
東京メトロ 銀座・半蔵門線) より徒歩8分